

ランドセルの寄贈を通じた被災地支援 ～子どもたちの笑顔のために～

2011年3月に発生した東日本大震災で亡くなられた母親から、震災が起こる前に書かれた愛情あふれる手紙がお子様宛てに届きました。この手紙を届ける取り組みは、「未来へつなぐタイムレター」というもので、ランドセルを販売する、株式会社協和が行っているものです。今回は、専務取締役の若松秀夫さんに、被災地支援や社会貢献活動に対する思いを伺いました。



株式会社協和 専務取締役
わかまつ ひでお
若松 秀夫さん

1950年東京生まれ。日本のバッグ・デザイナー。国内の大学で仏文科を専攻し、フランス芸術・文学を学んだ後、日本企業のフランス駐在として10年間を経て帰国。1982年、鞆の総合メーカー株式会社協和に入社。ビジネスバッグの他、スーツケースや障がいを持つ児童用のランドセルを手がけ、その高い技術力とデザイン性は、国内、国外ともに高く評価されている。主な受賞に日本グッドデザイン賞の他、2017年に優秀経営者顕彰特別賞受賞。



被災地(宮城県多賀城市)へのランドセルの寄贈は、とても喜ばれました。

遭われたご家庭の小学生を対象に、新品および再生ランドセルの寄贈」や「生活保護家庭・生活困窮家庭の新入学児童を対象に、新品ランドセルの寄贈」などを行っています。

その他の活動として、障がい児用のランドセルをオーダーメイドで製作することにも取り組んでいます。この取り組みは、2000年から始め、毎年、全国から200件〜300件の依頼が来ています。普通、オーダーメイドの商品は高額になってしまいますが、当社は一般的なランドセルの金額にしています。障がいがある方たちは、我々では気付かないさまざまな費用がかかっているのです。ランドセルの購入に経済的な負担をかけたくないからです。例えば、車を一台買うにしても、車椅子の必

「未来へつなぐタイムレター」とは、どのような取り組みですか。

購入いただいたランドセルに手紙セットが付いていて、小学校入学時の保護者の感動や喜び、また応援メッセージなどを未来のわが子宛てに書いて、送っていただきます。当社でその手紙を保管し、1000日後に、お子さんに送るというものです。1年生になる子どもの将来を思って書いた手紙が、その子が3年生になった時に、届けられるという仕組みになっています。2003年にスタートし、毎年、2000通〜3000通の手紙を子どもたちの元へ届けています。

取り組みのきっかけは、教育者である知人からの相談でした。「小学3年生は多感な時期で愛情を必要とする難しい時期でもある。親子が向かい合うきっかけが作れないか」と相談を受けたことです。そこで、この取り組みを思いつきました。普段、口では恥ずかしくて言えないことや、子どもに対する思いも、「手紙なら伝えられるの

手紙を書いて入れていたのです。お姉さんとお兄さんは、まさか、自分達にも手紙があるとは思っていなかったのだと驚いていました。津波により、お母さんの形見や思い出の品は全てなくなってしまうので、お母さんの字で書いてある手紙を見て本当に喜んでいました。その後、この話がマスコミに取り上げられたことをきっかけに、「かあさんのこもりうた」という絵本が出版されました。

「かあさんのこもりうた」とはどのような絵本ですか。

「主人公のくまの兄妹たちは、嵐によって母親を亡くし元気がありませんでした。その時、母親が寝る前に歌ってくれた子守唄が外から聞こえてきて元気を取り戻す」という話です。絵本の出版社から、「テレビ番組や新聞で被災地の子どもに手紙が届けられた話を聞き、ぜひその話を基にした童話を作りたい」という話があり制作に至りました。良い絵本なので、皆さんに読んでもらいたいと思いましたが、宮城県の家族の話なので、当社で購入して宮城県内の保育園と幼稚園626カ所に直接寄贈しました。「感動した」と多くの保育園や幼稚園の先生、子どもたちからお礼状をいただきました。

要なお子さんのいるご家庭では、軽自動車ではなくワンボックスカーを買わないといけない場合もありますよね。オーダーメイドだからといって、その方たちから10万、20万の購入費を取るなんてとてもできません。

「すばらしい活動ですね。社員の皆さんはどのような思いを持っていらっしゃるのでしょうか。」

このような活動は、トップの意向だけではやっていけません。社員みんなの気持ちが必要です。実際にランドセル作りには、私だけではなく、工場で働く社員をはじめさまざまな社員たちが携わっています。社員一人一人が、相手を考えている気持ちを持ち、社会貢献活動への理解があるからこそできていけることだし、何より気持ちが高ければ続かないと思います。そういった気持ちを持った人間が集まっているのが当社だと思っています。今後もランドセルを主とした社会貢献活動を行っていきたいと思います。

最後に被災地支援や社会貢献活動に対する思いを改めてお聞かせください。

社会で生きていく以上、「何か

では」と思ったからです。このうなきっかけがないと子どもに手紙を書く機会って、なかなかないですよ。その手紙は、子どもにとって大切な宝物になると思います。

「東日本大震災が発生した年の話をお聞かせください。」

東日本大震災が発生した2011年は、お届けするすべての手紙の住所をチェックしました。特に岩手県・宮城県・福島県を中心として、甚大な被害に遭われた地域に住所があった200人には、電話で住所を確認し、ほとんどの方々

「ランドセルを被災地に寄贈する支援活動などにも取り組まれていますね。」

また、東日本大震災後3年目には、震災を風化させたくないという思いから、当社の小売店の店頭で、先着1000名にこの絵本をプレゼントするキャンペーンも行いました。現在までに4万冊も刊行され、多くの方に読んでいただいています。

東日本大震災をきっかけに、茨城県や宮城県で起きた水害、熊本地震、北海道の台風被害に遭われた方に、この6年間で1万3千個以上のランドセルを寄贈してきました。災害はどこでも誰にでも起こりうるものです。決して他人事ではないと思います。そして一過性ではなく、受けた影響は何年も続きますよね。だからこそ、被災地への支援は、一時的ではなく継続的にしていくのだと思います。さらに、必要な方に必要な支援をすることも大切です。

私たちが贈っているランドセルは、水や食べ物とは違い、必ずしも皆が必要なものではありません。大人やランドセルを持っている子どもはいるから、実際に、東日本大震災の発生後、

困っている人がいれば、何かするのは当たり前」だと思って活動をしています。実際に震災の被害に遭った子どもや障がいを持った子どもを目にしました。その子どもたちから目を背けて儲けることだけを考える商売はできません。いろいろな形で被災地への支援や社会貢献活動はできると思いますが、ランドセルを作っている会社なので、やはりランドセルを通して子どもたちが笑顔になれるような活動をしていきたいですね。



未来へつなぐタイムレターの写真。



「かあさんのこもりうた」こんのひとみ/作
いもとようこ/絵 金の星社刊



と連絡を取ることができました。しかし、1人の少女だけ最後まで連絡を取ることができませんでした。そこで、宮城県に住む知人の力も借りて調べたところ、東日本大震災でお母さんを亡くし、祖父の家に避難していることが分かりました。通常は手紙を郵送するのですが、今回は、自ら手紙を届けに行くことにしました。

実際にお会いして手紙を渡すことができませんでした。手紙を開けてみてびっくりしたのは、小学3年生の少女だけでなく、お姉さんとお兄さんにも、お母さんが一人ずつ

被災地を訪れた時に、その地域にとって必要以上のランドセルが送られてしまい、在庫を抱えて管理に困っている自治体が数多くあることを知りました。現状を分らないで送るのは、かえって被災地にとって迷惑だと思えます。当社では、熊本地震で支援を行った際、小学校に1枚ずつ調査票をFAXで送った後、電話で連絡し、実際に必要な数を把握しました。ただ必要な個数を送るだけではなく、色も選べるようにしました。子どもたちのことを思えば、色が選べる方がうれしいですね。

「被災地へのランドセルの寄贈以外にも、さまざまな社会貢献活動を積極的にされていますね。」

被災地へのランドセルの寄贈を通して、震災に限らず、さまざまな災害に遭った方や生活に困っている方などへ支援していくことが必要だと思えました。そこで、昨年の10月に「ふわりいランドセル応援団」を立ち上げ、継続的に支援していく仕組みを作りました。活動の内容としては、「激甚災害に

ケアハウスまきば園
行田市白川戸275
☎048-555-2202
笑顔が自慢のまきば園で、安心して生活を送りますか? ご夫婦でのご入居もお待ちしております!

高齢者総合ケア施設
まきば園
☎048-555-2202 行田市白川戸275

元気な挨拶と明るい笑顔!
鴻巣まきば園
☎048-547-2202 鴻巣市前砂517-1

全室個室・ユニットケアの新型特養
岩槻まきば園
☎048-797-2202 さいたま市岩槻区横根1375

開放感あふれる鮮やかなケア施設
武里まきば園
☎048-739-2202 春日部市武里中野705

24時間365日お客様の在宅生活を支援続けます!
ふくしのまち春日部
~小規模多機能・訪問介護サービス~

介護職員・ホームヘルパー募集中!!
勤務地:春日部市金崎982-1
東武アーバンパークライン「南桜井」駅 車で5分
...Our Mission...
地域の福祉や街づくり、人づくりに貢献します。

株式会社 福祉の街 ☎048-645-2943
http://www.youisism.co.jp
さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル4F
ご見学随時受付中!!お気軽にお問い合わせ下さい。